

## 令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(技術)	学年・類型	1年	必修・選択	単位数(週時数)	1
教科書	技術・家庭 技術分野 (開隆堂)							
副教材等	技術・家庭ノート 技術分野 (四国地区中学校技術・家庭科研究会編)							

学習の目標	<p>材料と加工の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるようにします。</p> <p>生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして、設定した課題を解決し、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとするようにします。</p>
学習の方法	<p>生活の中から課題を見つけ、実践的活動の中で自ら解決する力を身に付けましょう。</p> <p>積極的に授業・製作に取り組み、知識や技能を習得しましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 材料と加工の技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、生活を向上するために進んで実践しようとする。</p> <p>2 思考・判断・表現 材料と加工の技術に関わる問題を見いだして、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、ノートなどの提出物の他、製作品、製作活動、主体的な授業への取組などを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス 「技術の授業を知ろう」</li> <li>材料と加工の技術 材料の特徴、製品の設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標や学習方法について学びます。</li> <li>身の回りにある様々な材料の特徴を学びます。</li> <li>製作品の構想を図に表す方法を身に付けます。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料と加工の技術 製品の製作 けがきをしよう 材料を切断しよう 部品を正確に仕上げよう 組み立てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の製作において、目的に応じた工具や工作機械の使い方について知り、正確でかつ安全な作業ができるようにします。 (さしがね、のこぎり等を使います。)</li> <li>加工した部品を製作手順を考えながら、正確に組み立てができるようにします。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料と加工の技術 製品の製作 製品を仕上げよう ものづくりと環境について</li> <li>情報 情報社会と自己責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗装の目的を知り、ていねいな作業ができるようにします。</li> <li>情報モラルや個人情報の保護に関する正しい知識を身に付けます。</li> </ul>



令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(家庭)	学年・類型	1年	(必修)・選択	単位数(週時数)	1
教科書	技術・家庭 家庭分野 (開隆堂出版)							
副教材等	技術・家庭ノート 家庭分野 (四国地区中学校・家庭科研究会 編)							

学習の目標	<p>家族・家庭の機能について理解し、家族や地域の人々と協力・協同して家庭生活を営む必要性について考えます。</p> <p>衣服の適切な選択・計画的な活用と手入れ、基礎縫いの知識と技術を身に付けます。</p> <p>住まいの基本的な機能について理解し、安全で快適な住空間の整え方を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>忘れ物のないように準備をして授業に臨みましょう。</p> <p>教科書や家庭科ノート、学習プリントを中心に各単元の内容を学習します。</p> <p>自分の身の回りの生活に目を向け、問題意識を持って学習に臨みましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 家族・家庭生活、衣生活、住生活についての基本的な知識を習得している。 基礎的な縫製技術、住空間の整え方が身に付いている。</p> <p>2 思考・判断・表現 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 家族・家庭生活、衣生活、住生活について、意欲と関心を持って主体的に取り組んでいる。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、実習における習熟度、ノートなどの提出物のほか、主体的な授業への取り組みなどを、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 3 幼児とのかかわり 4 家庭生活と地域のかかわり 5 持続可能な家庭生活	<p>自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて考えます。家族・家庭の基本的な機能、幼児の心身の発達と家族の役割、遊びの意義について学習します。地域の人々や高齢者との関わり方について考えます。</p>
2 学 期	B 衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管	<p>目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の適切な選択について学習します。衣服材料に応じた日常着の手入れや補修について理解するとともに、基礎縫いなどを身に付けます。</p>
3 学 期	B 衣食住の生活 1 住まいのはたらきとこころよさ 2 安全な住まいで安心な暮らし 3 持続可能な住生活	<p>住まいの基本的なはたらきについて学習します。安全で快適な住空間の整備に関する具体的な整え方を理解します。</p>

# 令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(技術)	学年・類型	2年	必修・選択	単位数(週時数)	1
教科書	新しい技術・家庭 技術分野 (開隆堂)							
副教材等	技術・家庭ノート 技術分野 (四国地区中学校技術・家庭科研究会編)							

学習の目標	<p>生物育成とエネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習を通して、生物育成とエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるようにします。</p> <p>生活や社会の中から生物育成とエネルギー変換の技術に関わる問題を見いだして、課題を設定し解決したり、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成とエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとするようにします。</p>
学習の方法	<p>生活の中から課題を見つけ、実践的活動の中で自ら解決する力を身に付けましょう。</p> <p>積極的に授業や製作・栽培に取り組み、知識や技術を習得しましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 生物育成やエネルギー変換、情報に関する技術についての関心を持ち、生活を向上するために進んで実践しようとする。</p> <p>2 思考・判断・表現 生物育成やエネルギー変換、情報に関する技術に関わる問題を見いだして、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。について、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成やエネルギー変換、情報に関する技術に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、ノートなどの提出物の他、製作品、製作活動、主体的な授業への取組などを、「生活や技術への関心・意欲・態度」、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<p>・生物育成の技術 作物の生育と栽培技術を知ろう 栽培計画を立て作物を育てよう 生物育成技術を有効に活用しよう</p>	<p>・それぞれの作物の育つ過程を知るとともに適した環境について学びます。</p> <p>・簡単な野菜を育てます。(ペットボトル栽培)</p> <p>・環境と技術の関係に着目し、自分たちにできることを考えます。</p>
2 学期	<p>・エネルギー変換の技術 わたしたちの生活エネルギー 電気を使うしくみを調べよう 目的に応じた回路設計をしよう 電気エネルギーの変換と利用方法を調べよう エネルギー変換を利用した製品をつくろう エネルギーを有効に活用しよう</p>	<p>・エネルギー資源の生かし方を調べます。</p> <p>・電気の基礎的な知識を身に付けます。</p> <p>・回路図のかき方を理解し、目的に応じた電気回路の設計ができるようにします。</p> <p>・電気エネルギーを変換するしくみを調べます。</p> <p>・製品の製作において、目的に応じた工具や工作機械の使い方について知り、正確でかつ安全な作業ができるようにします。</p> <p>(はんだごて、ニッパ、ドライバーなど)</p> <p>・環境と技術の関係に着目し、自分たちにできることを考えます。</p>
3 学期	<p>・情報の技術 計測・制御のプログラミングによる問題解決</p>	<p>・計測・制御システムの仕組み、安全・適切な製作や動作の確認。</p> <p>・計測制御システムの構想と情報処理の手順。</p>



## 令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(家庭)	学年・類型	2年	必修・選択	単位数(週時数)	1
教科書	技術・家庭 家庭分野 (開隆堂出版)							
副教材等	技術・家庭ノート 家庭分野 (四国地区中学校・家庭科研究会 編)							

学習の目標	<p>食事の役割や、栄養素について理解し、よりよい食生活を考えることができるようにします。調理実習を通して、調理の知識と技術を身に付けます。</p> <p>住まいのはたらきと役割について理解し、住まい方の工夫を考えます。</p>
学習の方法	<p>忘れ物のないように準備をして授業に臨みましょう。</p> <p>教科書や家庭科ノート、学習プリントを中心に各単元の内容を学習します。</p> <p>調理実習は、グループで協力して積極的に取り組みましょう。</p> <p>自分の身の回りの生活に目を向け、問題意識を持って学習に臨みましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 食生活、住生活についての基本的な知識を習得し、食品の適切な取り扱い方、基礎的な調理技術、住まいの管理方法が身に付いている。</p> <p>2 思考・判断・表現 献立の作成や住まい方について、環境に配慮し、自分なりの生活の工夫がみられる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 食生活、住生活について、意欲と関心を持って主体的に取り組んでいる。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、実習における習熟度、作品、ノートなどの提出物のほか、主体的な授業への取り組みなどを、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<p>B 衣食住の生活</p> <p>1 食事の役割と食習慣</p> <p>2 中学生に必要な栄養を満たす食事</p> <p>3 さまざまな食品とその選択</p>	<p>食事の役割や健康と食事とのかかわりについて理解しよりよい食生活の方法を考えます。栄養素の種類とはたらきや食品の栄養的特徴について学習します。</p> <p>食品の品質を見分け、用途に応じて選択し、安全と衛生に留意して食品や調理器具等の適切な管理ができるように学習します。</p>
2 学期	<p>4 日常食の調理</p> <p>5 地域の食文化</p> <p>6 献立づくり</p> <p>7 持続可能な食生活</p>	<p>調理実習を通して、食材の扱い方、調理方法などの知識や技術を身に付けます。</p> <p>食生活に関心をもち、日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動を通して、地域の食文化について理解します。</p>
3 学期	<p>B 衣食住の生活</p> <p>1 住まいのはたらきとこちよさ</p> <p>2 安全な住まいで安全な暮らし</p> <p>3 持続可能な住生活</p>	<p>住居の基本的な機能を学習し、家族の生活の場としての住空間について考えます。</p> <p>衛生的な室内の整備に関心をもち、実践できるようにします。安全で快適な室内環境の整備に関する具体的な方法を理解します。</p>

## 令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(技術)	学年・類型	3年	必修・選択	単位数(週時数)	0.5
教科書	新しい技術・家庭 技術分野 (開隆堂)							
副教材等	技術・家庭ノート 技術分野 (四国地区中学校技術・家庭科研究会編)							

学習の目標	<p>情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習を通して、情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるようにします。</p> <p>生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして、設定した課題を解決し、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとするようになります。</p>
学習の方法	<p>生活の中から課題を見つけ、実践的活動の中で自ら解決する力を身に付けましょう。</p> <p>学習活動に積極的に取り組み、知識や技能を習得しましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 情報の技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、生活を向上するために進んで実践しようとする。</p> <p>2 思考・判断・表現 情報の技術に関わる問題を見いだして、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術に関する課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、ノートなどの提出物の他、製作品、製作活動、主体的な授業への取組などを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術 生活や社会を支える情報の技術を考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の表現の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組みについて学びます。</li> <li>技術に込められた問題解決の工夫を学びます。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術 ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題を解決しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信ネットワークの構成、安全に情報を利用するための仕組みを知り、動作の確認ができるようになります。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の技術 社会の発展と情報の技術について知ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術についての知識を身に付けます。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	技術・家庭	科目	(家庭)	学年・類型	3年	必修・選択	単位数(週時数)	0.5
教科書	技術・家庭 家庭分野 (開隆堂出版)							
副教材等	技術・家庭ノート 家庭分野 (四国地区中学校 技術・家庭科研究会 編)							

学習の目標	<p>4年生時の家庭基礎における調理実習で着用するエプロンと収納用の巾着袋を製作し、製作の楽しさを知るとともに被服製作やミシン活用の知識や技術を身に付けます。</p> <p>また、ポケットに各自がデザインした刺繍をすることにより、オリジナルの実用的な衣服を製作するとともに、手縫いの基礎的な技術を身に付けます。</p>
学習の方法	<p>忘れ物のないように準備をして授業に臨みましょう。</p> <p>ていねいに製作に取り組み、授業時間内に完成させましょう。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 ミシンの使い方や衣服製作、衣服の構成についての基本的な知識を習得し、ミシン縫いや手縫いにおける基本的な技能が身に付いている。</p> <p>2 思考・判断・表現 製作を能率よくきれいに進めることや課題の実践において、自分なりの工夫がみられる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 エプロンの製作、夏休みの課題に主体的に取り組んでいる。</p>
評価の方法	<p>定期考査及び、実習における習熟度、作品、ノートなどの提出物のほか、主体的な授業への取り組みなどを、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。</p>

	単元	主な学習内容
1 学 期	<p>B 衣食住の生活 (衣生活)</p> <p>3 生活を豊かにするものの制作</p> <p>エプロン製作</p> <p>(1) 衣服の構成を知ろう</p> <p>(2) 裁断・手順の確認</p> <p>(3) ミシン縫い (ひも縫い)</p> <p>(4) ミシン縫い (ポケット作り)</p>	<p>衣服の構成、布の扱い方、作業道具の扱い方を学びます。</p> <p>安全に能率よく作業できるよう製作計画を立てます。まち針の打ち方、ミシンの使い方などの技術を高めます。</p>
2 学 期	<p>(刺繍)</p> <p>(5) ミシン縫い (ポケット付け)</p> <p>(6) ミシン縫い (脇・裾縫い)</p> <p>(7) ミシン縫い (ひも付け)</p> <p>(8) 仕上げ</p>	<p>オリジナルの刺繍を施し、オリジナルのアレンジを加え、個性を表現します。</p> <p>曲線、直線など部位に応じた縫い方と縫い代の始末をします。</p>
3 学 期	<p>4 持続可能な衣生活</p> <p>巾着袋の製作</p> <p>(1) 本縫い (2) 仕上げ</p>	<p>気候や風土による衣服の着方を学びます。</p> <p>残布の有効利用と資源や環境に配慮した衣生活について考えます。</p>

## 令和5年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年・類型	4年	必修・選択	単位数(週時数)	2
教科書	家庭基礎 明日の生活を築く (開隆堂)							
副教材等	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編) 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編) 生活ハンドブック (第一学習社)							

学習の目標	将来の自立のために必要な衣食住、家族、保育、消費生活・環境などに関する知識や技術を身に付けるとともに、男女が協力して創造する家庭生活を目指して、これからのよりよい男女のパートナーシップの在り方を考えます。学習を通して、生きる力と豊かな心を身に付けます。
学習の方法	教科書や家庭科ノート、副教材を中心に各単元の内容を学習します。 調理実習では、1時間でできるスピード献立の実習をします。 家庭クラブ活動やホームプロジェクトの実践を通して、家庭や地域の中で広く学習します。 日頃から身の回りの生活に目を向け、問題意識を持ちながら学習に臨みましょう。
評価の規準	1 知識・技能 必要な情報を収集・整理、分類することができ、習得すべき生活の技術を身に付けている。 2 思考・判断・表現 課題を解決するために、各分野の知識や技能を活用して自ら考え工夫している。 3 主体的に学習に取り組む態度 各分野の内容に関心を持ち、生活の中の課題に意欲的に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査及び、実習における習熟度、ノートなどの提出物の他、主体的な授業への取組などを、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。

	単元	主な学習内容
1学期	A 人の一生と家族・家庭及び福祉 1章 青年期の自立 2章 家族・家庭 3章 子どもの生活と福祉 D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	それぞれが「自分らしく生きる」・「共に生きる」ために、結婚や家族・家庭、職業生活などについて学習します。誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考えます。乳幼児の発達の特徴を踏まえ、関わり方を学習します。社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解します。
2学期	B 衣食住の生活と健康 1章 食生活と健康 2章 衣生活と健康 3章 住生活と健康	健康な生活に必要な衣食住の基礎を学習します。衣生活では、人と衣服のかかわりを見つめ、素材や手入れについて学習します。食生活では、栄養や食品について学び、実習を通して調理に関する知識や技術を身に付けます。住生活では、快適で安全な住まいについて考えます。
3学期	C 消費生活と持続可能な社会 1章 生活を支える経済 2章 消費行動と意思決定 3章 持続可能なライフスタイルと環境 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 4章 高齢者の生活と福祉 5章 共生社会を生きる	これからの持続可能な社会をつくるための環境に優しい消費行動の在り方について学習します。  高齢期を安心して過ごすためにはどのような社会を実現すればよいか考えて実践しようとする態度を身に付けます。

## 令和5年度 シラバス

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	学年・類型	6年人文 必修・ <b>選択</b>	単位数(週時数)	2
教科書	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う (教育図書)						
副教材等							

学習の目標	乳幼児期が人間の発達の基礎をつくる重要な時期であることを踏まえ、発達と環境との関係及び乳幼児期の発達の特性や過程を理解するとともに、実習を通して具体的な保育の方法を学びます。
学習の方法	教科書や学習プリントでの学習とともに、保育所訪問、幼児食実習、児童文化財制作実習などの実習を行います。 日頃から、テレビ、新聞などの乳幼児に関するニュースなどに関心を持ち、問題意識を持ちながら学習に臨みましょう。
評価の基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 関心・意欲・態度 乳幼児の保育に関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>2 思考・判断・表現 発育・発達段階に応じた子どもとのかかわり方を考え、実践することができる。</li> <li>3 技能 幼児食実習などの実習において、基本的な技能を身に付けている。</li> <li>4 知識・理解 乳幼児の保育に関して習得すべき必要な技能を身に付けている。</li> </ol>
評価の方法	定期考査及び、実習における習熟度、ノートなどの提出物の他、主体的な授業への取組などを、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価します。年間では、各学期の成績を総合して年間の学習成績とします。

	単元	主な学習内容
1 学 期	第1章 子どもの発達の特性 第2章 子どもの発達過程 ＜夏休み＞ 家庭クラブ「保育所訪問への参加」	乳幼児期の大切さを理解し、歴史的な経過を踏まえながら、現代における発達観を学びます。 乳幼児の心身の発達の特徴を学び、保育の方法を考えます。 保育所訪問により、発達の違いなどを観察し、子どもとのかかわり方を考えます。
2 学 期	第3章 子どもの生活 ＜幼児食実習＞ 第4章 子どもの保育 ＜児童文化財制作実習＞	乳幼児の生活の特徴を学び、順調な成長を促す上で、発育発達に応じた養護が必要なことを学習します。 乳幼児の心身の発達に応じた指導方法や環境作りなどを学習し、実習なども通して具体的な保育の方法を学びます。
3 学 期	第5章 子どもの福祉と子育て支援	子どもを取り巻く環境の変化に対応して、子育て家族に対する社会的支援を充実させることが必要であることを理解し、問題解決方法を考えます。



## 令和5年度 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年・類型	6年人文 必修・ <b>選択</b>	単位数(週時数)	2
教科書	フードデザイン cooking&arrangement (教育図書)						
副教材等	調理実習ノート基礎編(愛媛県高等学校家庭科教育研究会編) 生活学 Navi(実教出版)						

学習の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付け、食事を総合的にデザインする力を養います。
学習の方法	教科書や調理実習ノート、学習プリントを中心に学習します。 学んだ知識を生かし、技術の向上につながる実習を行います。 日頃から身の回りの食に関する情報に目を向け、問題意識を持ちながら学習に取り組みましょう。
評価の基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 関心・意欲・態度 食に関心を持ち、積極的に授業・実習に参加している。</li> <li>2 思考・判断・表現 日頃から食を取り巻く現状に目を向け、健康な食生活について考え、実践することができる。</li> <li>3 技能 調理に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。</li> <li>4 知識・理解 栄養・食物・献立・調理、料理様式等について理解している。</li> </ol>
評価の方法	定期考査及び、実習における習熟度、ノートなどの提出物の他、主体的な授業への取組などを、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価します。年間では、各学期の成績を総合して年間の学習成績とします。

	単元	主な学習内容
1 学 期	第1章 健康と食生活 (1) 食事の意義と役割 (2) 食を取り巻く現状 第2章 栄養素・食品の特徴 (1) 健康に必要な栄養素 (2) 食品の選択と取り扱い	食事の意義と役割、食をとりまく現状、食生活と環境を学習します。 栄養素の働き、消化・吸収のしくみ、食品の特徴、食品の加工、食品の選択と取り扱いについて学びます。 学んだことを生かし、ホームプロジェクトを実践します。
2 学 期	第3章 調理と献立 (1) 調理の基本 (2) ライフステージと食事計画 (3) 献立作成 (4) 様式別の献立と食卓作法	調理の基本である調理の目的、調味操作について学び、ライフステージと栄養計画について学びます。 日本料理・西洋料理・中国料理の献立と食卓作法について学びます。
3 学 期	(5) 食文化を見つめる (6) テーブルコーディネート	食と生活のかかわり、さらにはテーブルコーディネートについて学びます。